

<2020年3月26日発表>

西鉄グループ 2020年度 投資計画

- 西鉄グループでは、第15次中期経営計画(以下、15次中計)の2年目となる2020年度の投資計画を策定しました。
- 15次中計では、テーマを「未来を見据えた強固な基盤づくり～Envisioning the future and building a solid foundation～」とし、福ビル街区建替プロジェクトをはじめとした複数の大型開発プロジェクトを着実に推進するとともに、それを支える既存事業の収益力強化、成長エリアでの収益源の獲得等、安定的な収益の確保に取り組み、未来に向かって持続的成長を実現できる強固な基盤づくりを進めております。
- 投資総額は849億円を計画しておりますが、現在、新型コロナウイルスの感染が拡大しており、2020年度はお客さまおよび全従業員の安全・健康に最大限配慮しながらの事業運営となるため、収支・財務への影響を注視し、必要に応じて投資計画の変更や実施時期の見直し等を図りながら進めてまいります。

■ 2020年度の主な取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、

- ① お客さま・従業員の安心・安全を第一に、国・自治体等関係機関と密に連携を図りながら感染防止策・発生時の対応等に取り組む
- ② 中計重点戦略に基づく各具体策を着実に実施するが、収支・財務状況を注視し、必要に応じて投資計画の変更や実施時期の見直し等の措置を行う

1. アジアで最も創造的な都市「福岡」の中核となる新たな拠点づくり

(1) 大型開発プロジェクトの着実な推進

- ・ 福ビル街区建替プロジェクト…実施設計、イノベーションプロジェクトの実施
- ・ 旧大名小学校跡地活用事業…オフィス・商業等のリーシング実施、広場運営計画の検討

2. グループ一体となった沿線の魅力向上と観光インバウンド需要の取り込み

(1) 住みたくなる沿線づくり

- ・ 天神エリア…官民一体となった賑わい創出(イベント強化・情報発信等)、ソラリアステージビルリニューアル
- ・ 沿線エリア…雑餉隈駅～下大利駅間の新駅・高架下利用計画検討

(2) 持続可能な交通ネットワークの整備

- ・ JR九州との交通サービス連携推進
- ・ オンデマンドバス「のるーと」システムの他地区展開検討
- ・ 天神大牟田線への有料座席制度の導入検討

(3) 観光インバウンド需要の取り込み

- ・ 観光列車…地域資源の発掘・発信機能の強化
(地域とのコラボレーションによるイベント列車の運行等)
- ・ 古民家宿泊事業…太宰府天満宮周辺での宿泊棟数拡大
- ・ 柳川駅周辺整備事業…駅西口「にぎわい交流施設」計画策定

3. アジア・首都圏など成長エリアへの展開による新たな収益源の獲得

(1) 海外事業の拡大

- ・ 商業・オフィス・ホテル等を含めた開発の推進
住宅/収益不動産…ベトナム・インドネシア・タイ/分譲住宅、アメリカ/物流倉庫・賃貸住宅
ホテル…ソラリア西鉄ホテルバンコク開業(2020年度)
既出店都市での展開検討

(2) 首都圏など域外での展開強化

- ・ 住宅…立地に応じて分譲だけでなく賃貸を加えた開発を実施
- ・ ホテル…ソラリア西鉄ホテル札幌〔仮称〕開業(2020年度)
- ・ 生活雑貨販売…雑貨館「インキューブ」のドミナント出店

4. 国際物流事業の更なる強化

(1) 海外ネットワークの拡充

- ・ 海外現地法人の M&A、支店の開設(ブラジル等)
目標 2021 年度末:世界 31 ヶ国・地域 124 都市

(2) 航空・海運事業の強化

- ・ ゲートウェイ(貨物の集約口)機能の強化(フランクフルト、ロサンゼルス、シカゴ)
- ・ コアキャリアとの連携強化
- ・ 世界情勢の変化に伴う顧客の生産拠点移管への対応
(顧客情報共有プラットフォームの構築)

(3) ロジスティクス事業の強化

- ・ 倉庫スペースの拡大
- ・ 国内輸送におけるグループシナジーの発揮(西鉄運輸株と協働)

5. 未来を見据えた既存事業の収益力強化

(1) ICT を活用した商品・サービスの提供

- ・ MaaS 分野における利便性向上
(デジタル乗車券の拡大、交通系 IC カード連携等)
- ・ バスの自動運転実証実験等の実施
(朽網～北九州空港線の実証実験、福岡空港内際連絡バスへの導入に向けた研究)
- ・ バスナビでの電車運行情報提供
- ・ デジタル技術利活用推進(各事業領域でのサービスリノベーション検討)

(2) シニアマーケットを捉えた収益力強化

- ・ シニアマンション「サンカルナ」の事業拡大
(久留米:2020年度開業、西新:2021年度開業)
- ・ サービス付き高齢者向け住宅「カルナス」の開業(北九州・城野:2020年度開業)
- ・ 鉄道事業における高齢者向け運賃施策の検討

(3) 社外事業者との連携による新サービス、事業の創出

- ・ ベンチャー企業との協業

6. グループ総合力の発揮による新たな価値創造

(1) グループ一体となった事業連携の推進

- ・ アイランドシティ等での地域拠点開発
- ・ 太宰府等での沿線地域活性化

(2) グループシナジー創出のための営業・マーケティング施策の検討・実施

- ・ 法人向けグループ総合営業のための仕組みづくり・運用
- ・ 個人向けグループマーケティング施策の検討

(3) グループ横断の専門人材の活用

- ・ ICT 人材の一括採用
- ・ グループ横断的な商業テナントの一括リーシング

7. 持続的な成長を実現するための企業風土改革

(1) 組織文化改革、人材確保および人材育成の取り組み

- ・ 組織文化の改革に向けた実行プランの推進(職場内のコミュニケーション機会拡大等)
- ・ グローバル人材を確保・育成する制度・施策の構築・実施

(2) 生産性向上および非常時の業務継続のための取り組み

- ・ オンラインミーティング環境の導入拡大
- ・ テレワークの導入拡大
- ・ RPA の活用拡大

(3) 安全に関する取り組み

- ・ グループ全体での安全最優先意識の向上
(グループ横断組織である安全マネジメント委員会・各部会の取り組みの更なる深化等)
- ・ より安全なインフラ整備の推進
(西鉄福岡(天神)駅でのホームドア設置、バスドライバー異常時対応装置設置、施設の安全補強等)

(4) 環境・ガバナンスに関する取り組み

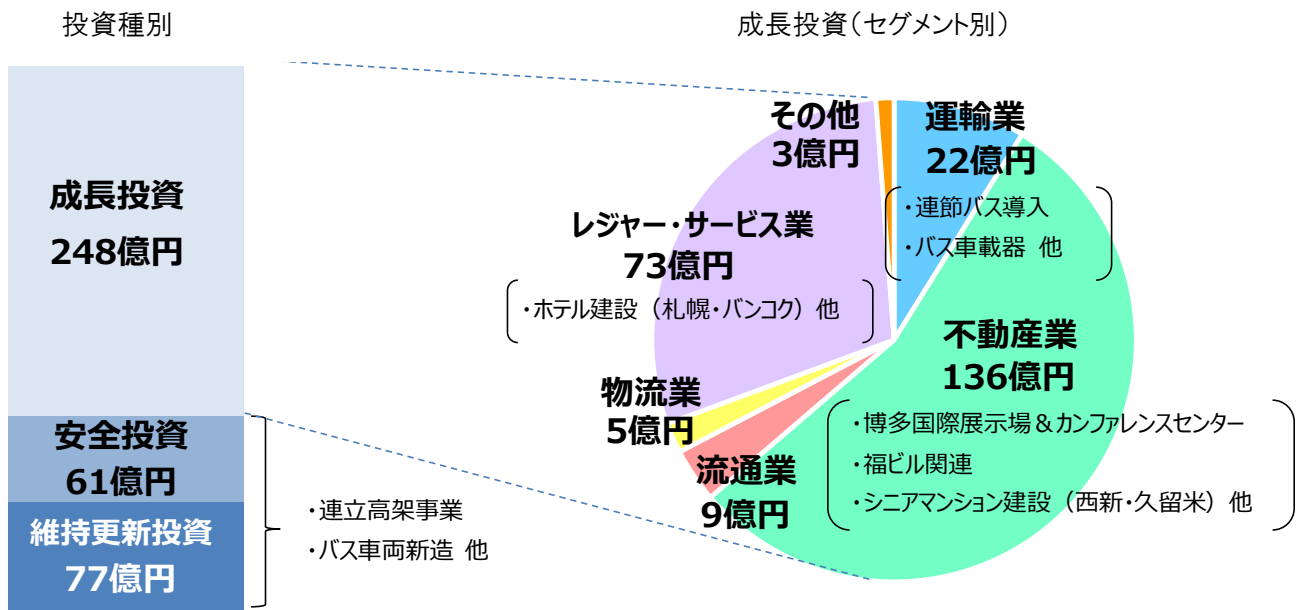
- ・ 環境負荷低減計画の実現(CO2 排出量削減等)
- ・ 環境対応車(EV・FCV 等)の研究
- ・ ガバナンス向上のための最適なグループ経営体制の検討

■ 2020 年度 投資計画(連結)

2020 年度 投資総額 849 億円

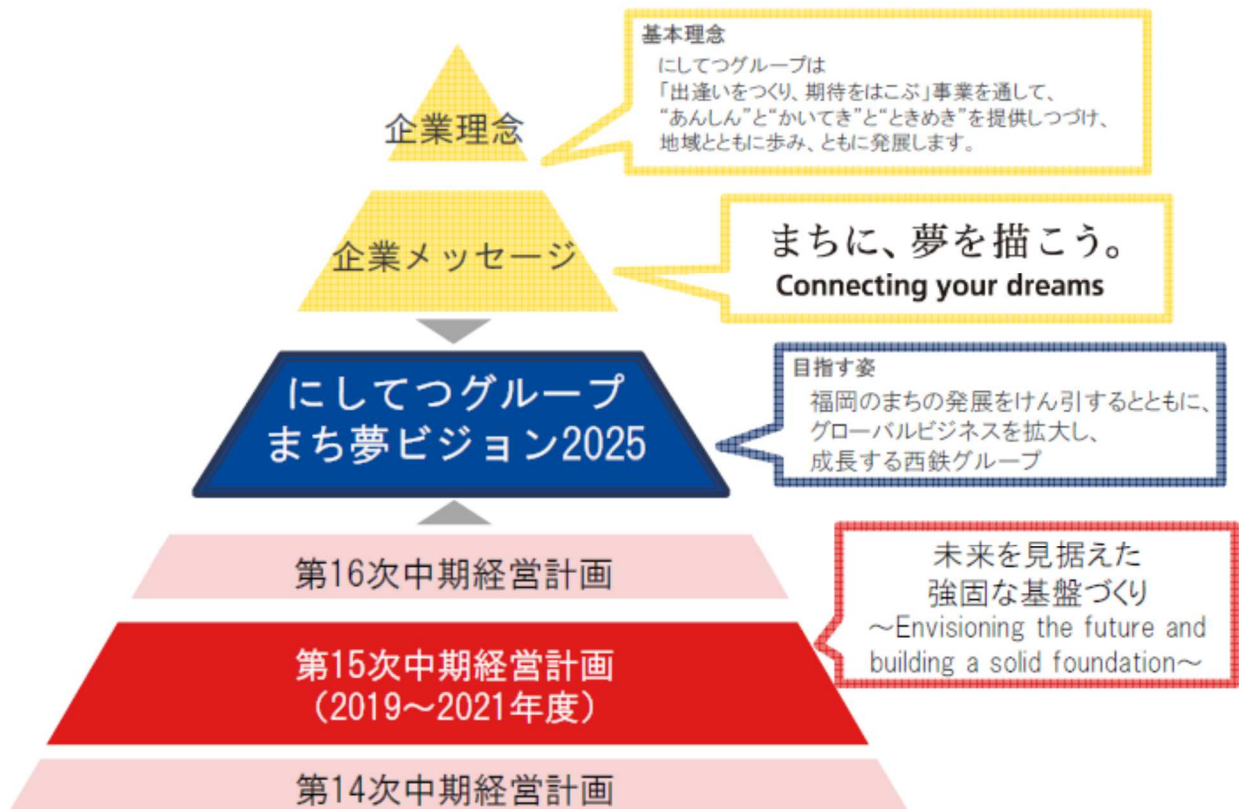
	2019 年度 予想	2020 年度 計画	2021 年度 見通し	3 カ年 計	15 次中計
					策定時との差
設備投資	375 億円	386 億円	335 億円	1,096 億円	△59 億円
分譲投資(国内)	314 億円	347 億円	382 億円	1,043 億円	△67 億円
投融資 (うち海外投資)	74 億円 (46 億円)	117 億円 (56 億円)	67 億円 (31 億円)	257 億円 (133 億円)	16 億円 (△15 億円)
投資総額	762 億円	849 億円	784 億円	2,396 億円	△110 億円

(設備投資内訳 総額 386 億円)



(参考) 第15次中期経営計画の概要

【位置づけ】



【テーマ】

「未来を見据えた強固な基盤づくり ~Envisioning the future and building a solid foundation~」

【基本方針】

感染症拡大に伴う感染防止策ならびに収益減対応策の適時適切な実施により足元の黒字経営を堅守しつつ、将来の収益源となる大型開発プロジェクトを着実に推進するとともに、持続的な財務の安定性確保に向けて収益力を強化し、中長期的な企業価値の向上を支える基盤づくりを進める

【重点戦略】

感染症拡大に伴う感染防止策・収益減対応策の適時適切な実施を最優先し、以下の中計重点戦略に基づく各具体策は実施時期の妥当性を検証のうえ取り組む

1. アジアで最も創造的な都市「福岡」の中核となる新たな拠点づくり
2. グループ一体となった沿線の魅力向上と観光インバウンド需要の取り込み
3. アジア・首都圏など成長エリアへの展開による新たな収益源の獲得
4. 国際物流事業の更なる強化
5. 未来を見据えた既存事業の収益力強化
6. グループ総合力の発揮による新たな価値創造
7. 持続的な成長を実現するための企業風土改革

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:0570-00-1010)まで